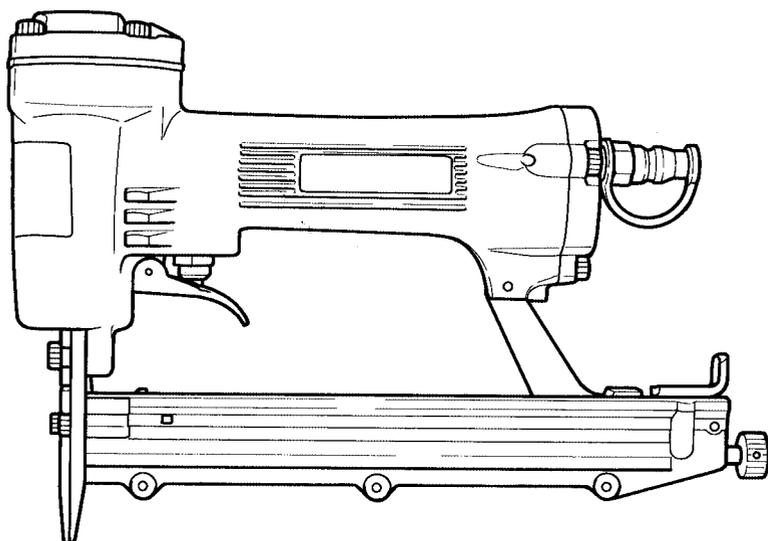


日立仕上釘打機

NT 25A

取扱説明書

このたびは日立仕上釘打機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



目 次

	ページ
釘打機の安全上のご注意	2
各部の名称	8
仕 様	8
釘の選び方	9
標準付属品	9
別売部品	10
用 途	10
作業前の準備	10
ご使用前に	11
使 い 方	13
保守・点検	15
エアコンプレッサと作業の速さ	16
別売部品の使い方	17
オイル・フィルタ・減圧弁	17
使用潤滑油	18
ご修理のときは	18
全国サービス拠点、営業拠点一覧	裏表紙

警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

釘打機の安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

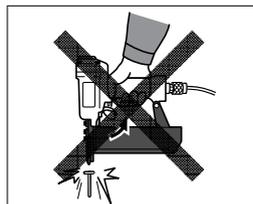
⚠ 警告

本機は引金を引くだけで釘を発射します。釘を打つとき以外は、引金に触れないでください。誤って釘を発射すると、けがの原因になります。

作業前

- ① 保護メガネを使用してください。
 - 作業中は、保護メガネを使用してください。
 - まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。釘を連結している接着剤の破片や打ち損じの釘が目にあると、けがの原因になります。
- ② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。

本機は、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使用すると、爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 機体の排気音や排気空気から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。
- ④ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。
- ⑤ きちんとした服装で作業してください。
- ⑥ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。
 - ネジ類の締め付けがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。



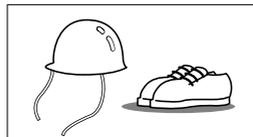
①



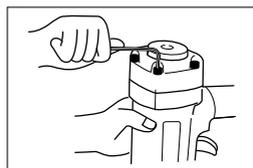
②



④



⑥



⚠ 警告

⑦ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 引金に手を触れない。
 - 射出口を人体に向けない。
- 誤って釘を発射した場合、けがの原因になります。

⑧ 釘を装てんする前に、エアホースを接続し、次の点検をしてください。

- エアホースを接続しただけで、機体内部のピストンなどの作動音がしないこと。
- 空気漏れや異常音がしないこと。

異常のあるまま使用すると、事故やけがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⑨ 用途にあった作業に使用してください。

- 本機は、木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。
- 指定された用途以外には使用しないでください。

⑩ 指定の釘を使用してください。

指定された釘以外のものを使用すると、けがや本機の故障の原因になるので使用しないでください。

⑪ 子供を近づけないでください。

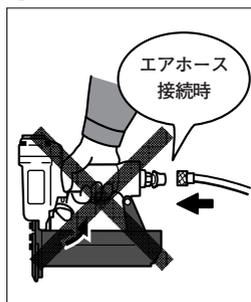
- 作業員以外、釘打機本体やエアホースに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

⑫ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

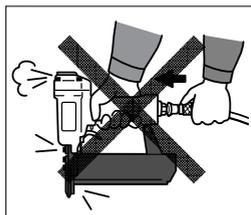
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。作業場は十分に明るくしてください。
- 暗い場所での作業は、事故の原因になります。

⑬ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

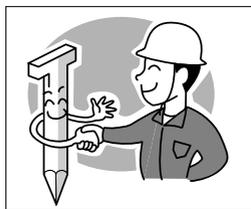
⑦



⑧



⑩



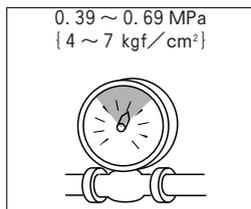
作業中

- ① 指定の空気圧力で使用してください。
 - 本機の使用空気圧力範囲は 0.39 ~ 0.69 MPa {4 ~ 7 kgf/cm²} です。この範囲内で使用してください。
 - 0.69 MPa {7 kgf/cm²} を超えた空気圧力で使用すると、機体の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。
- ② 人体に射出口を向けないでください。

人体に射出口を向けて、誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。
- ③ 射出口付近に人体や手、足などを近づけて作業しないでください。

誤って釘を発射したり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ④ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - 可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で、本機やエアコンプレッサを使用しないでください。
 - 釘を打ち込むときの火花による引火や、空気といっしょに吸引圧縮され、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑤ 釘を打ち込むとき以外は、引金に指をかけないでください。
 - 引金に指をかけて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
 - 釘を装てんするときや調整などをするとき、引金に指をかけないでください。
 - 誤って釘を発射する恐れがあり、けがの原因になります。

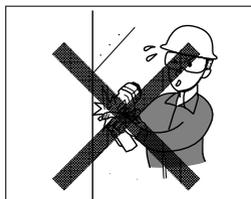
①



②



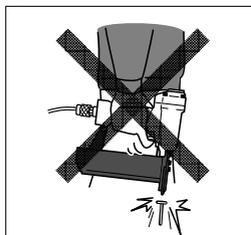
③



④



⑤



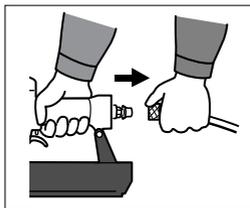
警告

⑥ 次の場合は、エアホースをはずし、圧縮空気を抜いてください。

- 使用しない場合や作業中断時、使用后。
- 点検・修理・調整、釘まりの直しなどの場合。
- 釘を装てんする場合。
- 釘打機を移動する際や手渡しする場合。

誤って釘を発射する恐れがあり、けがの原因になります。

⑥



⑦ 引金に指をかけた状態でエアホースをはずさないでください。

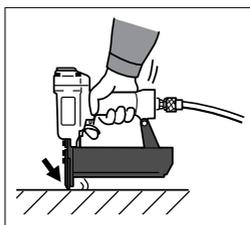
引金に指をかけた状態でエアホースをはずすと、次にエアホースをつないだとき、誤って釘を発射する恐れがあり、けがの原因になります。

⑧ 釘を打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。

- 一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。

釘がはね返ったり、本機が反発することもあり、けがの原因になります。

⑧

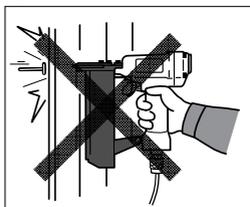


⑨ 作業中はまわりの人に注意してください。

- 釘を連結している接着剤の破片や打ち損じた釘が当たる恐れがあり、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。

⑩



⑩ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。

薄い板に打つと釘が突き抜けたり、木材の角に打つと釘がそれたりして、けがの原因になります。

⑪

⑪ 機体の反発に注意してください。

- 硬い所に打った場合、本機がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

⑫ 壁の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。

打った釘が突き抜けたり、壁ぎわの釘がそれたりして、けがの原因になります。

⑫



⚠ 警告

- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

転倒して、けがの原因になります。

- 高所作業のときは、釘打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。けがの原因になります。

- ⑭ 屋外での作業は、次のことに注意してください。

- 高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに固定してください。

不意にエアホースを引っ掛けたりした場合、けがの原因になります。

- 屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。

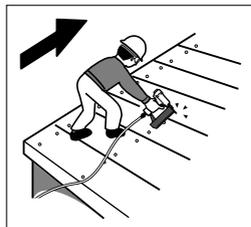
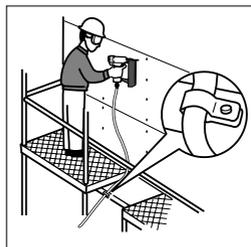
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。

- 床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。

後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。

- 壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。

⑭



- ⑮ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 釘打機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、まわりの状況など、十分注意して慎重に作業してください。

- 常識を働かせてください。

- 疲れているときは、使用しないでください。

- ⑯ エアホースをつかんで本機を移動しないでください。

- ⑰ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

内部の圧縮空気で破裂の恐れがあり、けがの原因になります。

⚠ 警告

- ⑱ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑱



作業後

- ① 作業後は、エアホースをはずしてから、釘を全部抜き取ってください。
釘を残しておくと、次に使用するときなど、誤って作動した場合に、けがの原因になります。
- ② 本機やエアコンプレッサ、エアセットは直射日光に長時間当たたまま放置しないでください。
- ③ 釘打機は、注意深く手入れをしてください。
•安全に能率よく作業していただくために、釘打機は常に手入れをし、清潔に保ってください。
•付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
•乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑤ 部品をはずしたり、改造をしないでください。
安全性が損なわれ、けがの原因になります。
- ⑥ 釘打機の修理は、専門店で依頼してください。
•修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

①



各部の名称

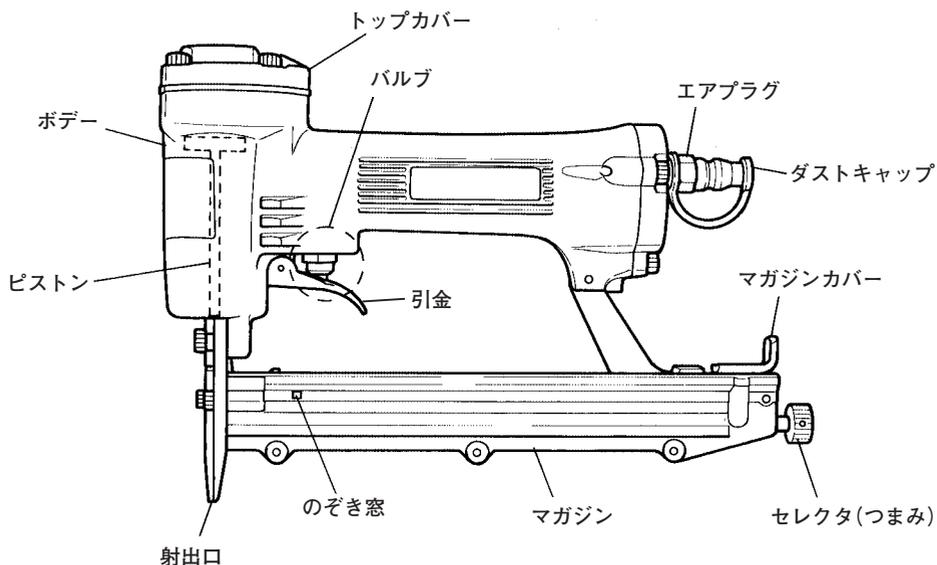


図 1

仕 様

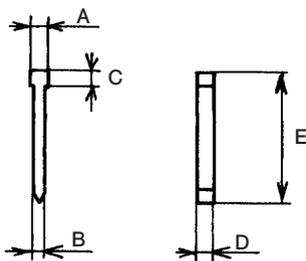
動力形式	ピストン往復動式
使用空気圧力	0.39～0.69 MPa {4～7 kgf/cm ² }
能力(使用釘)	T1015・T1020・T1025
釘の装てん数	130本(1連+30本)
大きさ	長さ266 mm×高さ184 mm×幅46 mm
製品質量	1.1 kg
釘送り方式	圧縮コイルばね式
使用エアホース(内径)	6 mm以上

釘の選び方

本機は下表に示す仕上釘が使用できます。

仕上釘は100本が一連に接着されています。寸法はおおよその値を示しております。

釘は本機お買い上げの販売店でお求めください。



仕上釘の頭の色は、それぞれ4色あります。
下地材に合わせてご使用ください。

(寸法単位：mm)

釘	A	B	C	D	E	頭の色
T 1015	1.9	1	1.1	1.25	15	白 (W), 茶 (B), 薄茶 (LB), ベージュ (Y)
T 1020					20	
T 1025					25	

標準付属品



- ① 六角棒スパナ 3 mm 1個
- ② 保護メガネ 1個

別売部品

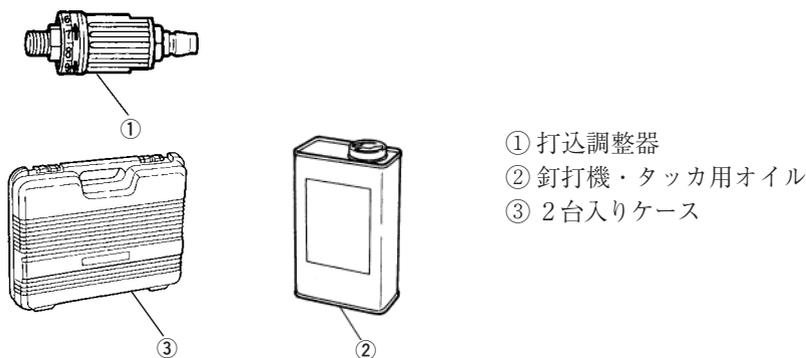


図 2

用 途

- 建築内装の化粧合板（プリント合板）の固定，巾木・回り縁打ち，
ドア・窓回り止め
- 家具製造

作業前の準備

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

作業前に次の準備をすませてください。

1. エアホースの準備……………

本機の使用エアホース内径は6mm以上です。エアホースをエアコンプレッサー側にしっかり接続してください。

注 ・エアホースの長さは，30m以内のものをお使いください。エアホースが長いと圧力降下をして十分な打込力が得られません。

2. エアコンプレッサ内のドレンを除去する……………

水や油が内部にたまりますと、さびが発生したり故障の原因になります。

ご使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部にたまった水や油を除去してください。乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。(詳細はエアコンプレッサの取扱説明書をご参照ください。)

3. 釘の準備……………

釘打ち作業の用途にあった釘を準備してください。(9ページ参照)

4. 安全点検……………

 警 告	
<ul style="list-style-type: none">• 子供など作業員以外は近づけないでください。• ネジ類の締め付けがゆるんでいないことを、十分に点検してください。• 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。	

15ページの「保守・点検」を参照し、必ず行なってください。

ご使用前に

 警 告	
<ul style="list-style-type: none">• 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。	

1. 空気圧力の確認……………

 警 告	
<ul style="list-style-type: none">• 本機の使用空気圧力の範囲は 0.39 ~ 0.69 MPa {4 ~ 7 kgf/cm²} です。この範囲内で使用してください。	

空気圧力は、釘打ち込み能力(釘径、釘の長さ、木材の堅さなど)に合わせて、0.39 ~ 0.69 MPa {4 ~ 7 kgf/cm²} の範囲で調整してお使いください。

空気圧力が0.39 MPa {4 kgf/cm²} 未満または0.69 MPa {7 kgf/cm²} を超えますと本機の性能、寿命、安全に影響しますので、エアコンプレッサの空気圧力、容量、配管に十分考慮が必要です。

2. 給油について……………

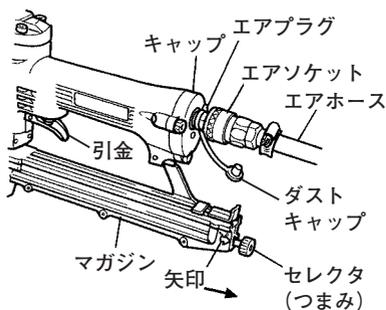
- 本機を使用する時は、エアーセット(17ページ参照)をエアコンプレッサと釘打機の間に取り付けてください。エアーセットからの給油は各部の動作が円滑になるとともに本機の寿命も長くなり、またさびの防止にもなります。オイラーの油滴下量は20～50回打込み毎に1滴の割合で調整してください。
 - オイラーを取付けない場合は、必ず1日に2回以上、作業の前後に2mL {2cc} 程度の油をエアホース取付口から入れてください。作業前の油は潤滑油となり作業後の油はさび止めとなります。
- 注** ・作業前の場合、給油直後空気を通すと、しばらくの間油が排気口、およびボデーの下部より噴霧状に飛び散りますので、油がかかっても支障のない所で2～3本釘を打ってそれから作業してください。
- ・作業後の場合、注油後1本だけ釘を打ちますと油が内部に行き渡りません。
- 油は、日立釘打機・タッカ用オイルをご使用ください。その他、市販で利用できる油を18ページに示しましたので、これらの油をお使いください。なお、混用は避けてください。

3. エアホースを接続する……………

⚠ 警 告

本機にエアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- ・引金に手を触れない。
- ・射出口を人体に向けない。



本機にホースを接続する場合は、エアプラグからダストキャップをはずし、図3のようにしっかり接続してください。

図 3

4. 釘を入れる…………

⚠ 警 告

- 釘を装てんする場合は、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

引いて矢印に合わせる

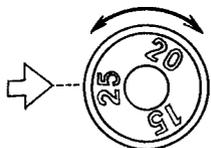


図 4

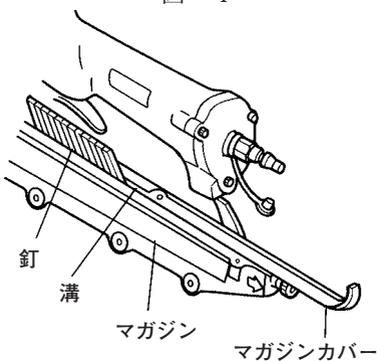


図 5

- 使用釘の長さ(15 mm, 20 mm, 25 mm)に合うセレクトタ(つまみ)の数字(15, 20, 25)をマガジン側面の矢印 ➡ に合わせてください。(図4)
合わせ方は、前ページの図3に示すセレクトタ(つまみ)をうしろに引いた後、セレクトタを回転させて合わせます。
- マガジンカバーをうしろへ、静かに引出してください。
- 釘をマガジンの溝に入れてください。
入れた釘が溝の先端(ビットガイド側)まで動くことを確認してください。
溝の中で、横に倒れた釘とか、ゴミが溝内に入っていると、釘が円滑に動きません。
その時は、これらの異物を溝内から除去してください。
- 釘がマガジン内に完全に入っていることを確認し、マガジンカバーを静かにもとどり完全に押しこんでください。

- 注**
- 必ず釘の長さに合わせて、セレクトタ(つまみ)の数字はマガジン矢印(➡)と一致させてください。
 - 釘は5本以上連結されたものをご使用ください。
 - 釘を装てんした状態でセレクトタは回さないでください。

使 い 方

⚠ 警 告

- 本機は引金を引くだけで釘を発射します。釘を打込むとき以外は、引金に触れないでください。
- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中は、まわりの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
- 人体に射出口を向けしないでください。
- 射出口付近に人体や手、足などを近づけて作業しないでください。
- 一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。

注 • 低温時に使用すると、機体の動作が悪くなることがあります。

本機は先端の部分（射出部）が細長いので、狭い部分やコーナーの部分でも十分使用できます。

1. 釘の打ち方……………

釘を打つ所に射出口を押し当てて引金を引けば一撃で打ち込めます。（図6）

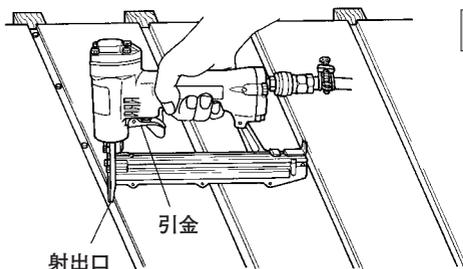


図 6

注 • 空打ちの注意
連続して釘を打っていると、釘がなくなったことに気がつかず、そのまま使用している場合があります。これを「空打ち」といい、空打ちを続けると各部に影響を与えますので、空打ちをしないようご注意ください。

作業中断時、使用後のご注意



警 告

- 使用しない場合や作業中断時、使用後はエアホースをはずしてください。
- 作業後は、エアホースをはずしてから、釘を全部抜き取ってください。

注 • 作業後は、エアコンプレッサの空気を抜いて、空気圧力を0にしてください。ドレン抜きをゆるめると、タンク内のドレンが除去されると同時に、圧縮空気が抜けて空気圧力が0になります。

2. 釘の取扱い方……………

- 注** • 釘の梱包箱、釘単体いずれの場合も扱いをていねいに行なってください。落しますと連結部が切れます。またそのままの状態で使用すると釘送り不良により、空打ち、釘詰まりなどが発生するため使用しないでください。
- 釘は長時間外気や直射日光にさらさないでください。さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があるので、使用しないときは釘梱包箱に入れてください。

保守・点検



警告

- 釘づまりを直すときや点検・手入れの際は、必ずエアホースをはずし、釘を全部抜き取ってください。

1. 釘づまりの直し方……………

- マガジンに入っている釘を全部抜きます。
- 六角棒スパナ3mmと⊕ドライバを使用してガイドプレートをはずします。
- 案内溝につまった釘、接着剤、破片、木くず等を⊖ドライバなどで取り除きます。(図7)

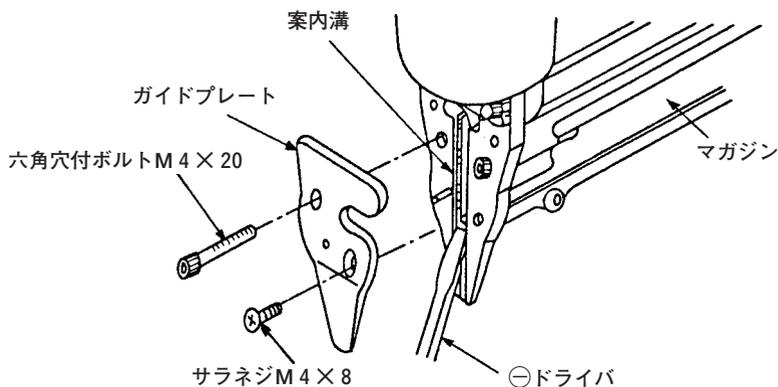


図 7

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないか、定期的に点検してください。ゆるんでいるところがある場合は、締めなおしてください。ゆるんだままお使いになると、けがなど事故の原因になります。

3. ごみ・ほこりの防止……………

- ごみやほこりが内部に入らないよう、エアホース接続の際には、口元のごみをぬぐってください。
- 使用しないときはエアプラグにダストキャップをつけ、本体内部にごみが入るのを防いでください。

4. マガジンの点検……………

マガジンをときどき掃除してください。
中にたまったごみ、木くずなどを取り除いてください。

5. 作業後の保管は……………

注・エアプラグにダストキャップをさし込むときは、本機をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- 作業後は内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、保管してください。
- 長期間使用しない場合は、さび防止のため、エアホース取付口から給油し、2, 3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。また鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。油は、日立釘打機・タッカ用オイルをご使用ください。その他、使用できる油を18ページに示しましたので、これらの油をお使いください。なお、混用は避けてください。また、油の中にごみがあると給気穴をふさいだり摺動部をいためる原因となりますので、清浄な油をご使用ください。
- 気温が下がると、ゴム製部品の収縮で空気が漏れ、朝の始動が悪くなる場合がありますので暖い場所においてください。
- お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

エアコンプレッサと作業の速さ

エアコンプレッサは、使用する場合の作業の速さ(毎分合計打ち込み本数)と使用空気圧力(MPa)の関係により、下表を目安に最適な機種を選定してください。

作業の速さ(毎分合計打ち込み本数)

使用空気圧力 エアコンプレッサ および出力	0.39～0.49 MPa {4～5 kgf/cm ² }	0.49～0.59 MPa {5～6 kgf/cm ² }	0.59～0.69 MPa {6～7 kgf/cm ² }
0.4 kW	140～100本	100～65本	65～45本
EC 6 SA 1 0.6 kW	210～155本	155～105本	105～75本
0.75 kW	255～190本	190～125本	125～90本
0.9 kW	285～215本	215～140本	140～100本
1.1 kW	340～255本	255～175本	175～125本

たとえば、0.49 MPa {5 kgf/cm²} の圧力で1分間に120本の速さで打ち込む場合(1秒間に2本)は、上の表からEC 6 SA 1, 0.6 kW以上の出力のエアコンプレッサが必要となってきます。

別売部品の使い方

警告

- 別売部品を取り付けるときは、必ずエアホースをはずし、釘を全部抜き取ってください。

打込調整器の使い方……

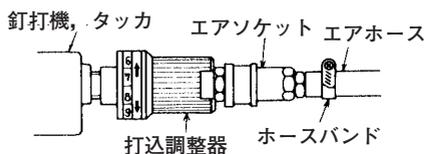


図 8

打込調整器(図2-①)は、釘打機・タッカのハンドル部に取付け手元で簡単に打込深さの調整をするものです。(図8)

本器を使用すると、材料の堅さ、釘、ステープルのサイズなどに合った打込力が得られ均一な仕上がりとなります。(詳細は打込調整器の取扱説明書を参照してください。)

オイル・フィルタ・減圧弁……(エアセット)

工具を最適の条件でお使いいただき、工具を長持ちさせるためオイル・フィルタ・減圧弁をご使用されるようおすすめします。これらは単体またはセットで市販されております。

(日立釘打機用ハンディコンプレッサ EC 6SA1 形には取付きません。)

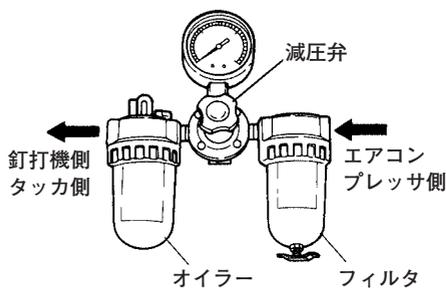


図 9

オイル…… 清浄で適量の潤滑油を自動的に供給できます。油は、日立釘打機・タッカ用オイルのご使用を推奨いたします。その他使用可能な油を18ページに示します。5～10本打つ間に1滴落ちる程度に調整してください。

フィルタ…… 圧縮空気中の水分、ゴミなどを取り除きます。

減圧弁…… エアコンプレッサの圧縮空気を必要な一定圧力に調整して使用できます。

使用潤滑油

釘打機・タッカに使用する潤滑油は、日立釘打機・タッカ用オイルをおすすめします。この油も含め使用可能な潤滑油は下表のとおりです。

油の種類		銘柄および品名
日立釘打機・タッカ用オイル		————— [別途販売しております]
その他の オイル 〔市販品〕	ベビコン油	日立ベビコン用オイル
	エンジンオイル	エンジンオイル各銘柄 SAE 10W, SAE 20W
	タービン油	タービン油各銘柄 ISO VG32～68 (# 90～# 180)

注 ・潤滑油は必ず上表の油を使用してください。不適正な油を使用すると動作不良の原因になります。

ご修理のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなったような場合には、決してご自分で修理をなさらないで下記のご用命ください。

最寄りの { 日立電動工具販売店 }
{ 日立工機電動工具センター }

ご不明のときは、裏表紙の日立工機サービス(株)サービス技術センター、または営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※ (外観などの一部を変更している場合があります。)

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれまして、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記のサービス技術センターにお問い合わせください。

● 全国サービス拠点——日立工機サービス(株) サービス技術センター

本社サービス技術部	〒110-0015	東京都台東区東上野五丁目2番5号(下谷ビル)	☎(03) 5828-4911(代)
北海道サービス技術センター	〒060-0041	札幌市中央区大通東十丁目11番4号	☎(011) 251-5831(代)
東北サービス技術センター	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8681(代)
東京サービス技術センター	〒143-0006	東京都大田区平和島五丁目3番2号	☎(03) 5753-7709(代)
中部サービス技術センター	〒490-1144	愛知県海部郡大治町大字西條字壱町田18番2号	☎(052) 443-0891(代)
北陸サービス技術センター	〒920-0362	金沢市古府二丁目297番地	☎(076) 269-1147(代)
関西サービス技術センター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積一丁目6番41号	☎(0726) 26-1301(代)
中国サービス技術センター	〒735-0023	広島県安芸郡府中町浜田本町5番29号	☎(082) 285-3281(代)
四国サービス技術センター	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 844-1851(代)
九州サービス技術センター	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5738(代)

● 全国営業拠点——日立工機株式会社

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号(ST金沢ビル)	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒541-0041	大阪市中央区北浜三丁目5番29号(日生日立ビル)	☎(06) 6231-6578(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒760-0007	高松市中央町5番31号(中央町ビル)	☎(087) 834-6111(代)
九州支店	〒814-0001	福岡市早良区百道浜二丁目1番1号(日立九州ビル)	☎(092) 844-7638(代)

● 電動工具ご相談窓口——お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

(土・日・祝日を除く 午前8:50～午後5:20)